

山陰道 鳥取西道路

事業費18,642百万円

道-1(鳥取)

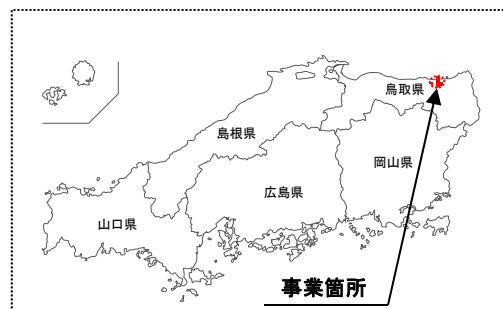
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 鳥取西道路は、災害時の代替路の確保、鳥取市内の交通混雑緩和を目的とした、鳥取市本高から同市青谷町青谷に至る延長19.3kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市本高～鳥取市青谷町青谷



3. 平成27年度 予定事業内容

鳥取西IC～青谷IC間の事業を実施中であり、吉岡温泉IC～青谷IC間の平成29年度の開通を目指し、埋蔵文化財調査、改良工事、トンネル工事、橋梁工事等を推進します。



※用地取得が速やかに完了し、鳥取県による埋蔵文化財調査が平成27年度迄に完了する場合



写真① 福井地区
(橋を造っています)



写真② 青谷IC付近
(米子方面を望む)

4. 期待される整備効果

■企業立地の促進・雇用創出の促進

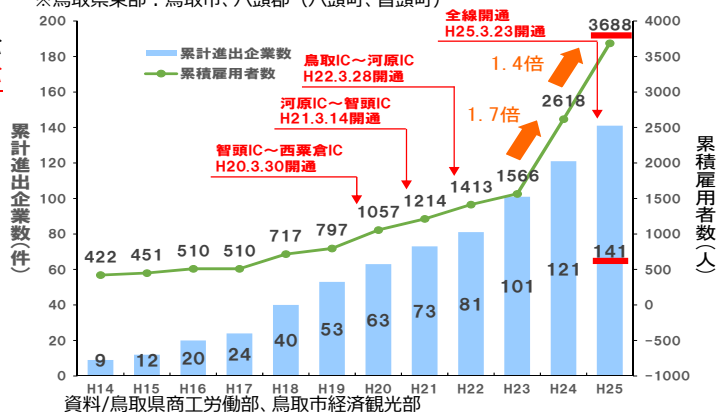
・鳥取自動車道の開通により鳥取県東部の企業進出が増加し、新たな雇用が生まれています。鳥取西道路の開通により鳥取県中部地域にも自専道ネットワークが広がることで企業活動を中心とした地域の活性化が期待されます。



鳥取ICに近接する東郷工業団地(H26.10月撮影)

【鳥取自動車道開通に伴う鳥取県東部の企業進出状況 (H14以降累積)】

※鳥取県東部：鳥取市、八頭郡(八頭町、智頭町)



事業推進

1. 事業の必要性及び概要

中国横断自動車道^{ひめじ とっとり}姫路鳥取線では、トンネルの連続やインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、走行阻害箇所の走行性や安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

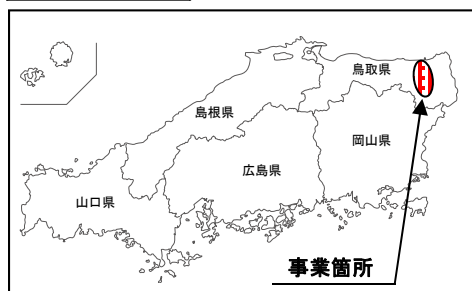
2. 事業箇所

鳥取県八頭郡智頭町市瀬^{やすぐん ちづ ちよう いちのせ}～鳥取市本高^{もとだか}(智頭IC～鳥取IC)

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度は、智頭IC～鳥取IC間の道路改良、橋梁下部及びトンネル工事を推進します。

位置図



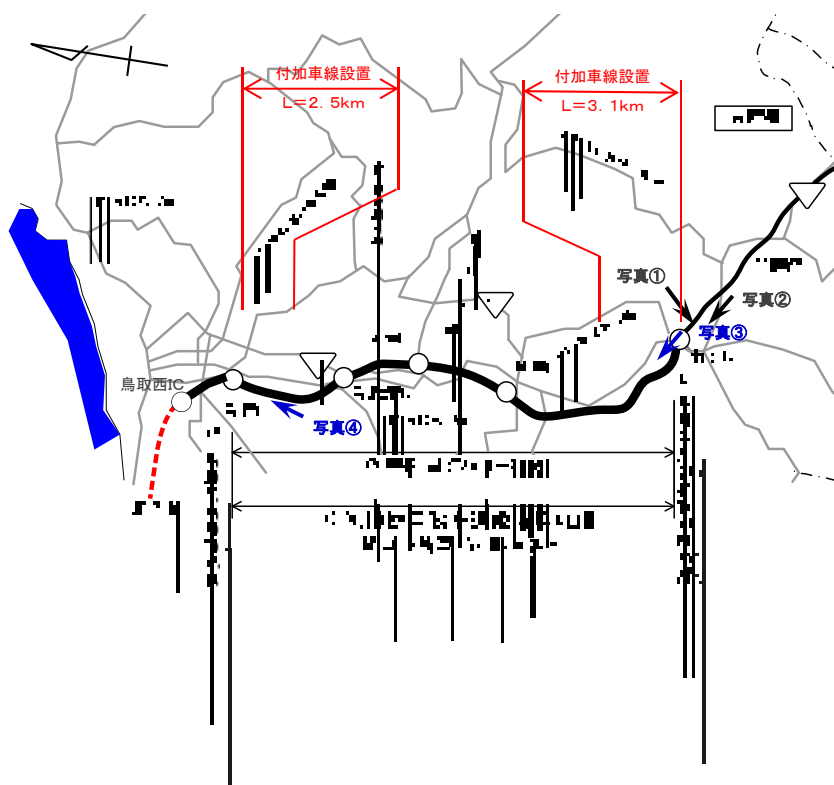
現況写真



写真① 智頭IC付近



写真②
H25.5.4智頭IC下り線ONランプ



工事状況写真

写真③ 施工状況(市瀬地区)



H27.3撮影

写真④ 施工状況(下味野地区)



H27.3撮影

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

- ・山陰道 米子道路は、西伯郡大山町及び米子市内の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長14.2kmの自動車専用道路です。
- ・山陰道 米子道路では、渋滞区間及びインターチェンジ部の合流により、走行速度が低下しており、交通阻害箇所の走行性、安全性の向上を図るため、付加車線を設置します。

2. 事業箇所

鳥取県西伯郡大山町安原～米子市陰田町
日野川東IC～米子南IC(付加車線整備区間)



3. 平成27年度 予定事業内容

橋梁工事等を推進し、付加車線の早期完成を目指します。



4. 期待される整備効果

- ・鳥取県中部から島根県東部の自専道ネットワークの整備や尾道松江線の開通により、島根県東部と鳥取県の観光ツアーが大幅に増加しています。
- ・米子道路付加車線の整備により観光シーズンなどで発生している渋滞が緩和され、山陰道の高速性・定時性が増し、広域周遊観光の多様性・広域化による観光産業の活性化が期待されます。



写真① 日野川東IC付近の渋滞状況



写真② 米子南IC付近の渋滞状況



鳥取9号交差点改良等

(湯梨浜・北栄地区事故対策)

道-4(倉吉)

事業費1,200百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所を含む国道9号の湯梨浜から北栄間は、一般道の長い直線が続く区間であるため、スピード超過しやすい区間となっており、東方面、西方面いずれの交通も、長瀬浜入口交差点・長瀬新川入口交差点及び新旧国道313号との交差点で信号停止車両への追突や右折車両との正面衝突が多く発生し、死亡など重大事故が発生しています。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図るものです。

2. 事業箇所

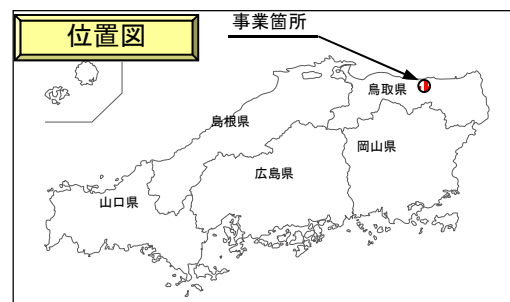
鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬、北栄町国坂～松神

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度は、湯梨浜・北栄地区の調査・設計、改良工事等を推進します。

4. 期待される整備効果

交差点2区間の立体化による事故対策を行い、事故削減を図ります。



鳥取9号交差点改良等 (別所地区交差点改良)

道-5(倉吉)

事業費204百万円

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、山陰道「東伯・中山道路」の琴浦PAと国道9号の道の駅「ポート赤碕」を結ぶ町道別所中線と国道9号が交わる交差点です。現在、国道9号に右折車線が無く、右折待ち車両による交通障害が発生しています。

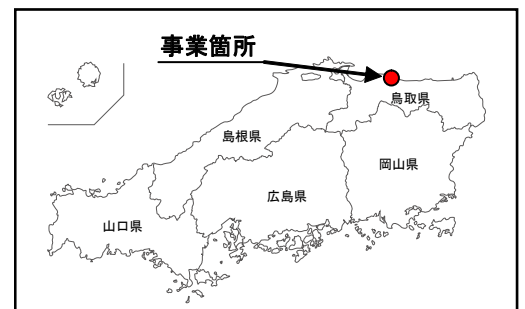
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、交差点部への右折車線設置等により交通安全の向上を図るものです。

2. 事業箇所

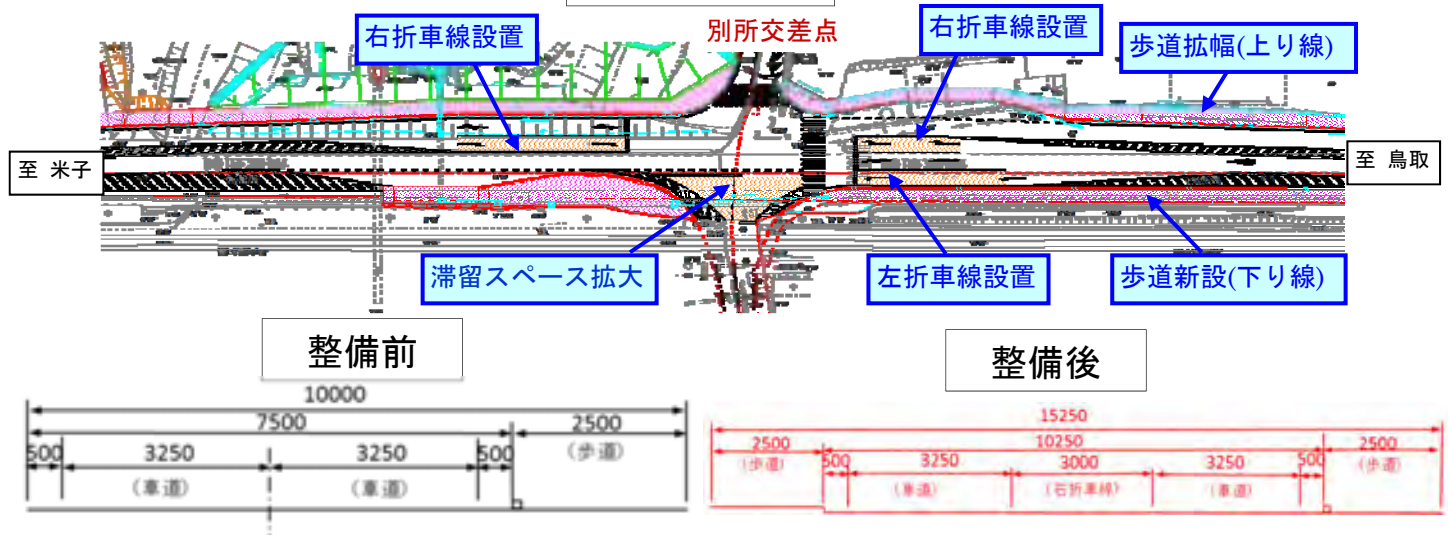
鳥取県東伯郡琴浦町別所

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成に向け、調査設計、工事を推進します。



計画平面図



鳥取29号交差点改良等（花歩道整備）

事業費39百万円

道-6（鳥取）

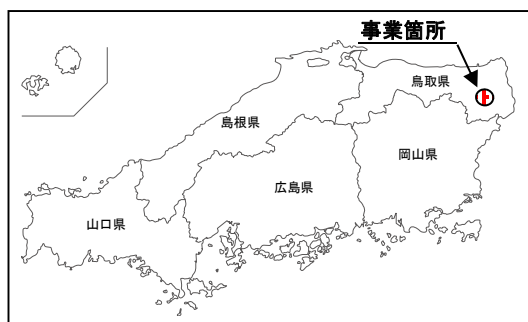
完成予定

1. 事業の必要性及び概要

国道29号の八頭郡八頭町花に位置する当該箇所では、歩道の幅が1m程度の箇所や歩道が無い箇所があり、歩行者と走行車両が近接して通行する危険な箇所になっています。

本事業は、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間として、歩道の拡幅を行い、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

位置図



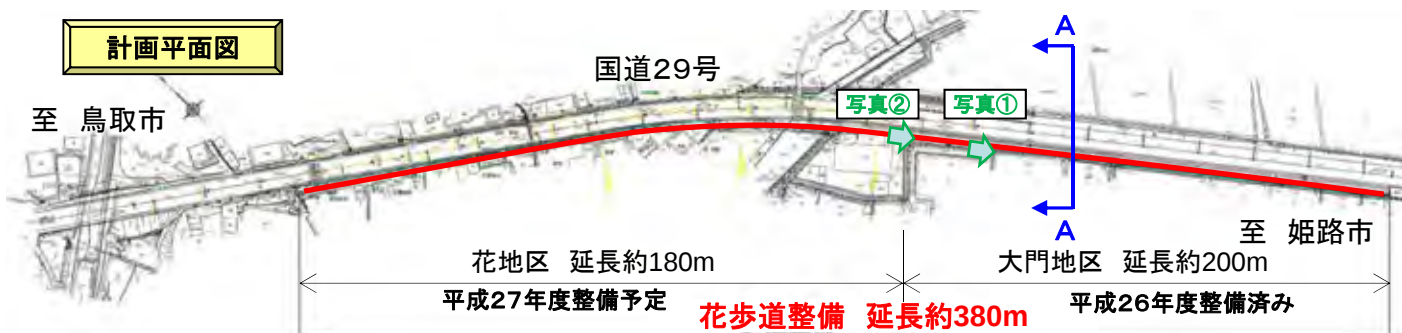
2. 事業箇所

鳥取県八頭郡八頭町花～大門

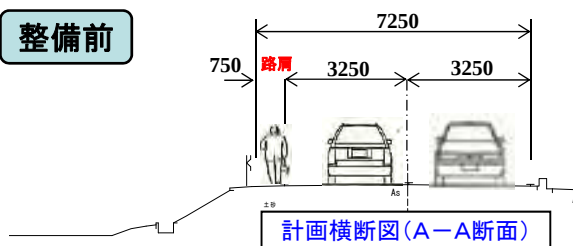
3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の完成を目指し、歩道整備工事を推進します。

計画平面図



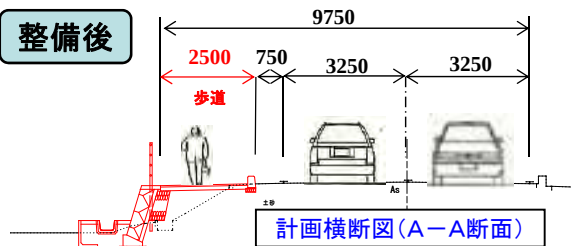
整備前



写真①



整備後



写真②



整備後利用状況イメージ図

1. 事業の必要性及び概要

完成予定

道の駅「^{しんわ さと しろ}神話の里 白うさぎ」は、歴史・自然などの共通テーマを通じ、周辺観光施設及び他の「道の駅」との連携拠点となる優れた提案があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、重点「道の駅」に選定されています。

平成18年のオープンから約10年たった道の駅「^{しんわ さと しろ}神話の里 白うさぎ」は、地域の観光ボランティア等による活動を行っていますが、近年の利用者増加、余暇レジャー変化等のニーズ多様化にともない、観光総合窓口としての機能強化等、多方面での改善が必要となっています。

現在、駐車場内での車両・歩行者の輻輳が発生しており、平成27年度は区画線や標識等により場内誘導の改善を行い完成させる予定です。



2. 事業箇所

^{とっとり はくと}
鳥取県鳥取市白兔
^{しんわ さと しろ}
道の駅「神話の里 白うさぎ」



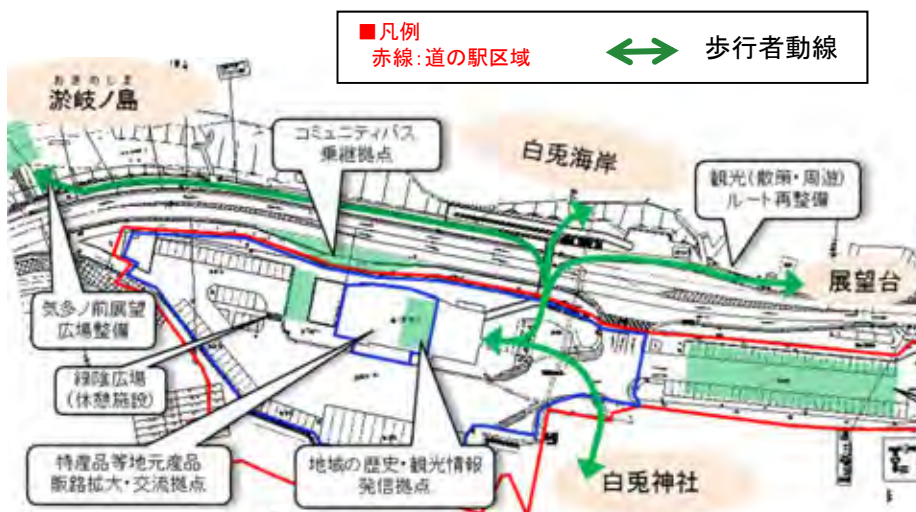
3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度の**完成**に向け、調査設計、工事を行います。

＜連携拠点イメージ＞



＜「道の駅」整備提案 平面図(案)＞



橋梁の老朽化対策

事業費約7,800百万円

道-8(鳥取)

※事業費は中国地方整備局全体で記載。

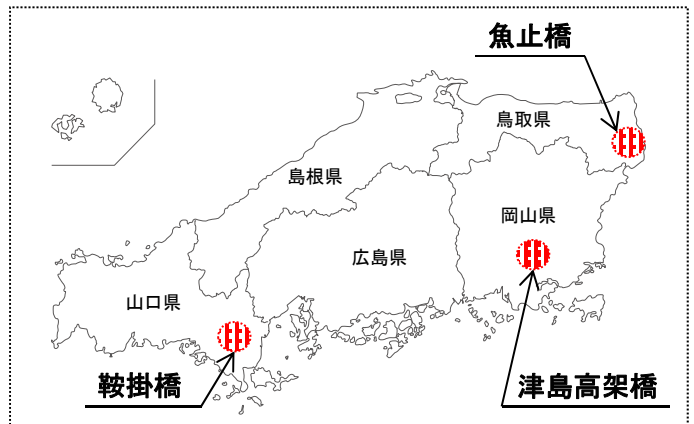
老朽化対策

1. 事業の必要性及び概要

定期点検の結果、修繕が必要と判断された魚止橋・津島高架橋・鞍掛橋など約210橋の修繕を実施することで、安全・安心で信頼性の高いネットワークの確保を図ります。

2. 事業箇所

- ・一般国道29号 魚止橋(鳥取県)
 - ・一般国道53号 津島高架橋(岡山県)
 - ・一般国道 2号 鞍掛橋(山口県)
- など約210橋



3. 平成27年度 予定事業内容

【代表事例】

魚止橋

や ず わかさちょうおぶね
(鳥取県八頭郡若桜町小船)
橋桁支持部材の改修等

津島高架橋

おかやま きた つしまきょうまち
(岡山県岡山市北区津島京町)
壁高欄の補修等

鞍掛橋

いわくに くがまちくらかけ
(山口県岩国市玖珂町鞍掛)
橋桁の補修等

全景



全景



全景



損傷状況



橋桁支持部材の老朽化

損傷状況



壁高欄コンクリートの剥離、鉄筋露出・腐食

損傷状況



主桁コンクリートの剥離、鉄筋露出・腐食

完成予定

1. 事業の必要性及び概要

鳥取港は、国際物流ターミナル(水深10m)等を中心に、山陰地方東部経済圏の拠点港として機能しています。一方、鳥取港に入出港する船舶が通航する千代航路^{せんたい}では、冬季風浪や台風等により港口付近で大小の波が発生し、中小貨物船の安全な航行に影響を及ぼしています。

このため、西浜航路^{にしはま}を新設するとともに、港内の静穏度を確保するため、防波堤の整備を推進します。

2. 事業箇所

鳥取県鳥取市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成27年度完成に向け、防波堤(第1)(西)の基礎工、消波工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、港内の静穏度が向上し、年間を通じた荷役作業の効率化が図られるとともに、航行船舶の安全性向上及び避難水域の確保に寄与します。

新規着手

1. 事業の必要性及び概要

山陰地方には国内海上輸送網にミッシングリンクがあり、境港周辺の企業は非効率な輸送を強いられています。また、境水道沿いの既存施設は老朽化や背後用地の不足、船舶航行の安全性の課題から、他地区への移転・集約が急務となっています。さらに、境港に定期就航している航路が利用している岸壁は非耐震であり、大規模地震発生時の物流機能確保並びに離島航路等の継続的な就航が課題となっています。

このため、境水道側の既存施設の移転や新たな内貿RORO船に対応したターミナルを整備・耐震化することで、境港のふ頭再編を行い、物流機能の効率化、山陰地方の産業競争力強化を図ります。

2. 事業箇所

鳥取県境港市

3. 平成27年度 予定事業内容

岸壁(水深10m)の整備に必要な調査、設計等を実施します。



4. 期待される整備効果

本事業により、既存ストックが整理され、維持管理コストが削減されるとともに、国内海上物流のミッシングリンクの解消、並びに物流効率化により、境港背後圏をはじめとした山陰地域の産業競争力強化が図られます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰地方の中央に位置する境港は、背後圏に製紙、木材加工、鉄鋼等、多くの企業が立地し、原材料の輸入や製品の輸出等を通じ、地域の経済活動を支えており、日本海沿岸地域を代表する国際物流拠点として更なる役割を担うことが期待されています。

しかし、貨物量の増加や船舶の大型化に伴い、大型岸壁やふ頭用地の不足等の問題が顕在化してきており、非効率な輸送の解消が喫緊の課題となっています。

このため、外港中野地区に、3万トン級の大型船に対応した国際物流ターミナルを整備します。

2. 事業箇所

鳥取県境港市

3. 平成27年度 予定事業内容

平成28年度完成に向け、岸壁(水深12m)の裏込・裏埋工、上部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、将来増加する多様な貨物の取扱を円滑に行うことが可能となるとともに、利用企業の物流コストの削減が図られること等を通じ、地域産業の国際競争力強化、雇用の確保等に寄与します。